

## 第14回栃木活性化サロン

### テーマ「スタートアップ企業と地域企業との共創について

### ～新たなイノベーション創出と社会課題解決への挑戦～

◇ゲストスピーカー 宇都宮市 経済部 産業政策課  
産業イノベーショングループ 総括 福田 宏明 氏

#### 【1.宇都宮市の施策について】

- ✓宇都宮市の産業振興の指針となる「**うつのみや産業振興ビジョン**」の重点施策の一つとして、**本市産業を発展させる新事業・成長産業の振興を掲げている。**
- ✓具体的には「新規事業への意欲の高い市内企業や成長志向の高いスタートアップを幅広く発掘し、成長を促進」、「事業創造から成長、発展まで成長段階に応じた切れ目ない支援」及び「新規事業、スタートアップ企業を絶え間なく創出できるよう地域一体となった支援環境の整備」等の考え方に基づき、スタートアップ企業支援に取り組んでいる。

#### 【2.スタートアップ支援事業について】

- ✓宇都宮市が事務局を務める産・学・官・金連携の任意団体「**宇都宮イノベーションコンソーシアム**」を始め、スポーツチームや市内企業などと連携し、地域一体となったスタートアップ支援体制を構築。
- ✓「**起業家支援施設 宇都宮ベンチャーズ**」  
平成14年に設置した起業家支援施設。創業者等に対し低額な賃料で施設を賃貸し、起業家や市内経営者等との交流の機会を提供する施設であり、現在13社が入居している。当時、**自治体がこのような施設を所有するのは先駆的な取り組みであり、これまで約600人以上の従業員雇用者数を創出。**

## 【2.スタートアップ支援事業について（続き）】

### ✓「アクセラレータープログラム」

将来有望なスタートアップ企業を選抜し、実証実験のサポートや専門家によるアドバイス等、約5か月間の伴走型支援を行い成長を加速化させるプログラム。令和5年度はスポーツ健康分野等5分野でスタートアップ企業を募集し、9社のスタートアップ企業を採択。

### ✓「オープンイノベーションプログラム」

市内中小・中堅企業の新事業開発に向けたスタートアップ企業との協業を伴走支援するプログラム。市内中核企業を公募により選定し、スタートアップとの協業により実現したい新規事業などテーマを設定のうえ、市内外のスタートアップ企業から協業案を募集。令和5年度は1社選定し、ビジネス戦略の策定から検証までの一貫したサポートを行っている。

### ✓「異業種交流会」

令和3年度から異業種間の「出会い」の場を創出すべく、様々な分野の人・企業の参加を促す異業種交流会「Open Session Friday」を年3回程度開催。令和4年度からは大規模なスタートアップ交流イベントを年1回開催。令和5年度はライトキューブで「OPEN SESSION UTSUNOMIYA 2024」を開催し、約350名の参加があり活発な交流が行われた。

## 【3.地域のイノベーション創出に向けた行政の役割】

- ✓地域経済の持続的な発展には、収益や雇用において多大な付加価値を生み出す産業を振興する必要があるため、宇都宮市では「スタートアップ企業の輩出」、「地域企業の新たな事業展開の支援」、「成長分野の企業誘致」等に取り組んでいる。
- ✓企業を取り巻く環境はDX、GXなど急速に変化しており、企業の抱える課題は多様化、複雑化している。今後、企業の実情に応じ、新規事業の発掘・創出に向けた寄り添った成長支援が必要。新規事業の創出を実現するためには自治体のリソースだけでは限界があり、地域のステークホルダーが連携しながら、企業の新しい取組みを後押ししていく仕組みを強化する。